

お元気ですか

三菱樹脂OB会だより第九号

高橋会長年頭ご挨拶

明けましておめでとうございませす。皆様におかれましてはご家族ともども良い年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。旧年中は大変ご協力を賜りありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



OB会も新たな会員を迎え、会員数約五六〇名になりました。会の益々の発展を支えるべく、会の運営としては、スポーツ、趣味の会などのリクリエーション活動や地区別集會など總會以外の日常活動を積極的に進め、会員相互の親睦を深めるとともに、これらを通じて、会員の皆様の心身の健康に役立ち、いつまでも若々しい気持ちを持ち続け、第二の人生を楽しまれるとともに、それぞれ何らかの形で社会に貢献されるのにお役立ちできるように念じて取り組んでおります。

ホームページもこれら各地の活動の記事が豊富になってきています。

ほか、会員個人のユニークな活動の紹介も増え、開くのが楽しみになっています。編集担当幹事の方はじめサポーターの方々のご努力に感謝申し上げますとともに、今後とも皆様からの活発な投稿をお願いいたします。

今年もこの路線に沿って活発な活動を進めて行きたいと思っておりますので、相変わらず皆様のご協力をお願い致します。皆様の益々のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶とします。

大阪支部定期総会

平成十五年十一月十八・十九日北摂の地伏尾温泉にある鮎茶屋その名も「不死王閣」にゲストを含めて十七名が集った。

織り姫伝説に由来する「衣懸けの湯」の庭園露天風呂に浸かった。一同は午後六時を期して宴会場へ。山口滋新支部長の開会挨拶、行事・会計報告があり、続いてMPI関西支社長より会社の近況について報告頂いたが、中でもヒシパイプが発売五十周年を迎え祝賀会を開催した由、皆感慨に耽ること暫し。

町田さんの音頭で乾杯の後、座は一気に酒宴へとひた走り始めた。芸達者の宮本さんが十八番の

「がまの油売」変じてその昔S社K社の担当者をして参ったと言わしめたという「ヒシパイプ売り」の口上を演じ始めると会場の全員が抱腹絶倒。これをきっかけに場は乱れ始め懐旧談からカラオケへとエスカレートして行った。



三時間近くの宴もゲストの紹介も済み日帰り組が退出する頃漸く中締めとなったがその後二次会は深夜に及んだ。

翌日は宿泊組十二名が車五台に分乗し五月山ドライブウェイから「勝ちだるま」の応頂山勝尾寺(勝王寺ともいう)に参詣。境内の紅葉を楽しんだ後阪急箕面駅にて散会した。(熊倉寛記)

九州支部忘年懇親会



平成十五年十一月二十九日(土)於木曾路(天神ダイヤモンドビル店)

出席者 安部敏朗、井上雅史、上野徳機、川野秀正、川山功治、菊浪義信、桑村偉正、佐古田英男、柴田弘規、末永理、相馬義一、田中一英、西田茂、久富良司、古川國男、松尾義光、矢野叔久、和藤隆英、荒井支社長

景気の風向きも上昇気配と思われるので、より良いサービスをねらって早目の忘年懇親会を開催いたしました。初参加二名、総勢十九名が集い、年令差を感じさせない和やかな飲み会となりました。若い会員が増えたこともあって大いに盛り上がりました。積みもる話を積み残した方々、飲み足りない方々は昔馴染みのネオン輝く街へと出向かれました。(佐古田英男記)

名古屋分会懇親会

平成十五年十一月二十二日(土)十二時〜午後二時
場所「中国料理」東天紅
出席者 岸川茂、合原精一、竹内薫範、玉木正良、中島次郎、速水幹男、円山普薫、藪島勝、宮内勉
名古屋分会所属の会員は総数二十名でその内、愛知県在住者は十三名 岐阜県四名 三重県三名となっている。
初会合以来三回目となる今回はアクセスに便利な国際センターの最上階にある「東天紅」を会場に選び、窓外に広がる名古屋市内の眺望を楽しみながらの懇親会となった。



幹事から新人会員の紹介や情報ネットワークの報告を行った後、合原先輩に乾杯の音頭をお願いし全員の健康を祈念し懇親会に入った。昔話や近況交換などで話が弾

み瞬く間に予定の時間になったので再会を約し散会した。

なお、行事が重なり日程調整がつかない方からは丁寧な近況コメントを頂いた。

今回は現役で活躍中の人も含め更に多くの方々が出席出来るよう日時の設定を工夫したい。

(岸川茂記)

本年度OB会総会予告

平成十六年五月二十一日(金)

場所 長浜工場

詳細は後日ご連絡します。

歩こう会

本地区第三十七回歩こう会

湘南鷹取山ハイキング

平成十五年十月三十一日(金)

参加者二十二名 石川晃司、石

橋正康、市村義雄、小倉武司、

木澤英雄、木原仁博、坂本堅一、

清水康次、下瀬英樹、高橋健二、

高橋義衛、土川猛弘、豊田安鴻、

中川実信、野中矩仁、浜田幸三、

原田浩次、藤原志朗、村上錠作、

山田守士、山本猛、吉井靖

三浦半島の北部に在る鷹取山

に登った。JR横須賀線の東逗

子駅から表参道を経て、まずは

神武寺へ、次に薬師堂前の「な

んじやもんじやの木」を見て一

服した後、奥の院跡まで急坂を

登る。

その後は所々に露岩が見られ

る尾根道を進み、鷹取山頂上直

下の広場に十二時半に到着。駅

から約一時間二十分を要した。

展望台へ上がっても富士山や

房総半島は残念ながら見えない。しかし眼下の横須賀市街、三浦半島、相模湾一帯にかけての眺望は素晴らしい。

もう一つ残念なことはウィークデーのため頂上直下の岩壁でのロッククライミング練習風景を見ることが出来なかった。

約一時間の昼食休憩後、磨崖仏の横を通り抜け山道を下り京浜急行の追浜駅へ向かう。

魚料理の店「七海」で懇親会を行う。皆程々に酔がまわり、午後四時半「鷹取山ハイキング」を終了した。(野中矩仁記)



本地区第三十八回歩こう会

寄席演芸を楽しむ

平成十五年十二月四日(木)

国立演芸場 参加者十七名 安

彦隆、荒木秀浩、石橋正康、市

村義雄、岩田幸三、香川重雄、

加藤進、黒川亮、篠島秀明、谷

口勝利、中村寿夫、原田浩次、

広瀬勉、松内俊夫、山本猛、吉

田清、吉井靖

演芸場の入口ロビーは我々と

同様の熟年グループで溢れている。会場はほぼ八分の入り。 講演：神田きらり「力士谷風と佐野山の逸話」

落語：瀧川 鯉橋「かぼちゃ」 歌謡漫談：東京ボーイズ

落語：桂右団治「そこつ長屋」 漫才：新山 ひでき やすこ

落語：桂 伸治「寝床」 奇術：松旭齋八重子プラス1

落語：桂 小文治「のざらし」 俗曲：松乃家 扇船

開演早々、会場に女流講師の威勢の良い声が流れる。落語の合間に歌謡曲、マジックや都々逸等が繰り広げられる。

「桂右団治」、落語芸術協会の女性真打ちの一番目。トリの桂文治師匠の水カステラの飲みっぷりは至芸。終演後、近くの「えぞ会席」に移り、広瀬さんの挨拶で開宴。寄席の話、来年三月の作品展、健康、近況等々と話が弾み、最後は荒木さんの三本締でお開き。(吉井靖記)



長浜支部第九回歩こう会

安土城跡を巡る

平成十五年十一月十三日(木)

参加者十五名 東正一、大西

義夫、梶道信、木下勝康、北村

忠衛、小林一好、富岡秀雄、外

海金太郎、中山勉、西沢芳朗、

武蔵秀夫、武藤實、森川栄寿、

世森幹治、柴田清廣

JR能登川駅を出発して、約

6kmを小一時間歩いて安土城跡

の入り口に到着。

更に標高一九九mの小高い山

の頂上に建てられた天守閣跡を

目指して、段差の高い石段を苦

戦しながら登る。途中前田利家、

羽柴秀吉、森蘭丸等の屋敷跡が

ある。お昼に天守閣跡に到着。

天守閣から見渡す琵琶湖、比

叡の山並み、安土の城下の眺望

を満喫して下山。



さらに近くの安土風土記の丘に展示されている原寸大に復元された天守閣(五、六階部分)や安土駅近くの城郭資料館で安土城の二十分の一の精密な模型を見

学して全行程を終了。全行程約十km、五時間の「織田信長のロマン」に接した一日でした。(柴田清廣記)

長浜支部工場見学会

長浜バイオ大学見学会

平成十五年十月十六日(木)

参加者十五名 大村元孝、大

西義夫、加藤勲、梶道信、柴田

弥蔵、下田篤生、立石堯、堤賢

三、富岡秀雄、中山勉、広瀬毅、

森隆男、森川栄寿、世森幹治、

柴田清廣

JR田村駅に集合して、先ず

多田幸寺を拝観し、中島義観住

職から寺の歴史や国の重要文化

財に指定されている御本尊「薬

師如来座像」についての説明と

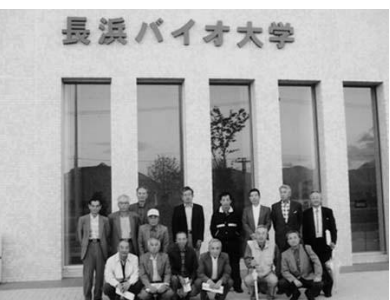
講話をしていただきました。

像は平安時代初期の作で、樞

材の一木造りで黒光りしている

堂々とした威厳のある仏像でし

た。



多田幸寺から徒歩で長浜バイオ大学へ移動して、広報部の方から大学の特徴や教育科目の概要などの説明を受け、校内の施

設や研究・実験機器を見学しました。

長浜バイオ大学は長浜市と経営母体の関西文理学園との公民協力方式で設立され、新産業の育成を目指す「長浜サイエンスパーク」の中核施設として地域の期待を背負っています。

教授陣もバイオ企業から転じた人が多く、研究・実験機器も最新最高のものが揃っていて、ノーベル化学賞を受賞された田中耕一さんが開発された「蛋白質微量精製システム」という機器もありました。(柴田清廣記)

大阪支部第九回樹楽会

嵯峨野路を歩く

平成十五年九月二十九日(月)参加者八名 岡本益弘、奥田公具、内藤次生、平井穰、福井久、町田富美夫、山口陸雄、熊倉寛コース 京都駅〜大覚寺〜高雄〜清滝



京都駅から大覚寺行のバスに揺られること一時間、途中太秦

映画村、有栖川などを横目に嵐山方面に向かう。桂川の岸を通り、渡月橋を右折して程なく大覚寺に到る。

境内の風情・風格は格別であり時代劇のロケに頻繁に使用される。

寺脇を少し進むと駆込み寺で知られる「直指庵」が見え、ここから嵯峨野めぐりコースに入り桂川支流の清滝川溪流沿いに高雄を通る。この辺りは東海自然歩道に通じている。

菖蒲谷池で昼食休憩後、紅葉で有名な「高雄山神護寺」を垣間見て愛宕神社への登山口でもある清滝に到着。

帰路ビール、酒などで乾杯、次回の子定を相談し散会した。(熊倉寛記)

ゴルフ同好会

本地区区第二十回ゴルフコンペ

平成十五年十月二十三日(木) 大厚木カントリークラブ 参加十九名 安藤明義、石橋正康、市村義雄、岩田幸三、大庭忠利、小倉武司、壁本昌集、亀田実、坂本堅一、佐藤昌二、高橋健二、高橋義衛、長崎英太郎、西林公助、原田浩次、牧原稔、三浦修、横幕敏郎、渡部一蔵

七十七歳以上の大先輩四名の参加を得たほかに、初参加の三名が加わり、大変楽しい一日でした。前回の準優勝者長崎さんがハンデイも上がり不利かと思われましたが、実力発揮で優勝。二位には



初参加の牧原さんが、三位には高橋さんが見事に入賞されました。

ミーティングでは、距離的に遠いため参加しづらい千葉、茨城方面の方たちのため、従来からのゴルフ会に加えて、新たに東関東地区ゴルフコンペ開催の企画について報告がありました。

優勝 長崎英太郎
準優勝 牧原稔
第三位 高橋義衛
BG 市村義雄八二(42.40)
ニアピン賞 市村義雄 坂本堅一 石橋正康 亀田実
特別賞(ブランドシニアのベストネットスコア)高橋義衛
次回幹事 長崎英太郎、牧原稔 (三浦修記)

長浜支部第二回ゴルフコンペ

平成十五年十月三日(金) 彦根カントリー倶楽部 参加十九名 雨森作仁、岩根信次、尾本光弘、加藤勲、神部勇作、北川浩生、草野康雄、小林一好、後藤健二、笹原榮之介、

柴田壽一、柴田弥蔵、竹田善祐、西沢芳朗、服部重受、藤田稔、武藤幹男、山田知男、柴田清廣 爽やかな秋晴れに恵まれ、文句のつけようがない天気でしたが、成績には不満の残る方が多かったようでした。

プレー後、場所をDS社「汲月」へ移して懇親会並びに表彰式を行いました。

主な入賞者と成績は次のとおりです。
優勝 雨森作仁(BG) 八六
準優勝 草野康雄
第三位 神部勇作 (柴田清廣記)



大阪支部第四回ゴルフコンペ

平成十五年十月二日(木) 箕面ゴルフクラブ 従来二組がやっとだったのですが、今回は十一名の参加を得ました。参加者 雨森作仁、宇塚正、

岡本益弘、熊倉寛、野瀬庄一、平井穰、南野彰宏、山本功、渡辺俊彦、吉田康子(特別参加) 山口滋(記)

優勝 南野彰宏
準優勝 野瀬庄一
第三位 雨森作仁



テニス同好会

本地区区秋季大会

平成十五年十一月二十一日(金) 三菱化学泊江コート 参加者 市村義雄、伊藤春生、井東政蔵、岡田五郎、加藤欽一、篠島秀明、高橋義衛、土川猛弘、鳥居正義、西林公助、原田浩次、藤原志朗、牧原稔、宮下和久、安田久雄、川上治夫

六十才から八十六才までの十六名のシニアプレーヤーが集いました。試合は、六ゲーム先取のエキジビジョンゲーム以外は、全て四ゲーム先取でジュース一回のみノンアドバンテージ方式で

行なわれ、殆どのメンバーが四乃至六試合に出場し、トーナル十九試合をこなしました。

往年の名選手と、腕はともかく根っからのテニス好きな方とのコンビネーションプレーには見応えのある味なプレーが展開される一方、舌戦を交えての珍プレーなども散見され、和気藹々の雰囲気の中に一日を楽しく過ごすことができました。

打上げ会では、参加者全員の近況報告等話題が尽きず、十六時三十分にと閉会しました。なお、従来大会に利用していた三菱化学狛江コートが平成十六年一月末で閉鎖されるので、次回の開催地は検討メンバーで選定することとしました。

(川上治夫記)



「第七回第八回撮影会」

フोटোসークル2000

第七回 平成十五年十一月四日 (火) 川越市

第八回 平成十五年十一月二十八日(金)鎌倉市

参加者 青山新太郎、永松啓至、吉井道郎、久保秀雄、橋本志真、山崎勲、山本猛、西林公助、柳沢知男、廣江昭道

小江戸川越。紅葉にはすこし早すぎた感じでしたが、それでも喜多院の奥庭、五百羅漢、菓子屋横丁のメルヘン、どつしりとした蔵造りの商家の黒い外壁、大きな鬼瓦、藍染めの暖簾等々、今に残る小江戸のしっとり落ち着いた風情を求めて歩いた一日でした。はたしてそれが作品に結び付いたでしょうか。

鎌倉撮影会。円覚寺ではひたすら紅葉と古刹の組み合わせを求めて、拝殿にぬかずくのも忘れてしまいました。そこから亀ヶ谷切通し、化粧坂切通しを経て源氏山公園へ。ここでは遠足の小学生がお弁当を薦にさらわれて大騒ぎしていました。風が強く撮影もそこそこに引き返して海蔵寺へ向かいました。



先の川越、今回の鎌倉、どちらもよく歩きました。皆さんの元気なことに驚きましたが、とても嬉しいことでした。

懇親会ではOB会作品展出品

を中心にした話し合い、写真談義にも花が咲き大いに盛り上がりました。(廣江昭道記)

趣味、健康、ライフワーク

菱水会のご紹介

菱水会は観世流謡曲と仕舞を通じて、三菱各社の親睦と連帯感を育むことを理念に昭和二十四年に発足した能楽同好会です。諸先輩、諸先生の熱心な指導、三菱金曜会、養和会のご支援を賜り、春秋二回の大会を開催してきました。さる十一月二十二日は第一〇回を終えたところですが。



現在会員は十七社約四百人で、三菱樹脂からOB三名(明吉橋田 鳥居) 現役十一名が参加しています。

能楽は平成十三年五月世界無形遺産に指定され、日本伝統文化が国際的に認められた第一号です。

この伝統文化に身近に接する良い機会として初心者には勿論の

こと、稽古の経験がある方も三菱グループの方でしたら歓迎いたします。(鳥居正義記)

OB会事務局から

▽会員の状況

全会員数 五五八名 本部三〇七名 長浜一六七名 大阪三五名 名古屋二〇名 九州二九名(平成十五年十二月十二日現在)

▽訃報

白崎重幸殿 平成十五年五月十二日逝去
西村富士雄殿 平成十五年七月七日逝去
満本敏一殿 平成十五年七月二十日逝去
田幡義勝殿 平成十五年八月三十日逝去
鶴田泰祐殿 平成十五年九月十二日逝去
慎んでお悔やみ申し上げます。

OB会作品展のご案内

会期 平成十六年三月八日(月)～三月十四日(日)
時間 午前十時～午後六時
(初日は午後二時から、最終日は午後四時まで)
場所 神奈川県民ホール(前回と同じ場所) 京浜東北線関内駅石川町駅より徒歩約十五分
問合せ先 平松久 電話 03-3700-1944 FAX 03-3708-6868

発行者：三菱樹脂OB会事務局 〒110-0016 東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7-2F (株)ダイヤサービス東京支店内 担当 原島尚参 TEL 03-3834-9174 FAX 03-3834-8837

編集委員

市村義雄
加藤進
黒川亮
原田浩次
森川栄寿
吉井靖

TEL/FAX:0463-55-7235
TEL/FAX:03-3709-3610
TEL/FAX:047-447-2881
TEL/FAX 045-621-3355
TEL/FAX:0749-63-5307
TEL/FAX:045-811-9390

e-mail ichiyo-ei@k2.dion.ne.jp
e-mail ssmkato@oregano.ocn.ne.jp
e-mail heichuan@m19.alpha-net.ne.jp
e-mail kh8893@mb.infoweb.ne.jp
e-mail e-morika@gaea.ocn.ne.jp
e-mail yoshiiya@skyblue.ocn.ne.jp

OB会ホームページのアドレス

http://www.mrc.mpi-mrc.co.jp/obkai/